



中学校夏季トレセン



かごしまJRC

発行所
鹿児島県青少年赤十字
指導者協議会

事務局
日本赤十字社鹿児島県支部
鹿児島市鴨池新町1番5号
電話(代表) 099-252-0600

青少年赤十字活動と心の教育

青少年赤十字指導者協議会
会長 有馬 修吾
(鹿屋市立西原小学校長)



本年度も、
青少年赤十字
活動が充実の
うちに終える

ことができ、関係者の皆様方に深く感謝申し上げます。

さて、昨年印象に残る行事として、十一月二十五日に鹿児島情報高等学校で開催された研究発表会が上げられます。これは、委嘱を受けて取り組んだ二年間の成果を発表するものです。

今回は当校が委嘱を受けてくださり、青少年赤十字のこころを育むためにという研究主題のもと「気づき、考え、実行する」をすべての教育活動にどのよう位置付けられるかについて研究の成果を発表してくださいました。まさに高校生らしい見ごたえの発表でした。

青少年赤十字

実践目標
健康・安全、奉仕、国際理解・親善

態度目標
気づき、考え、実行する

今回の発表を通して、心の教育と青少年赤十字活動の関連を図っていくことの重要性を改めて感じました。

来年度も引き続き御指導・御協力をよろしくお願いいたします。

園や学校での防災教育

青少年赤十字賛助奉仕団
赤十字安全奉仕団委員長
中山 忠順



日本赤十字社では、東日本大震災を教訓として、

「災害からいのちを守る赤十字社」の確立をめざし、その中で、特に「青少年赤十字防災教育」に力を注ぎ、園や学校での防災教育に取り組んでいます。しかし、教育現場における具体的な取り組みは必ずしも進んでいないのが現状ではないでしょうか。

本県では最近、園や学校で大規模な災害を想定した体験学習や訓練が行われるように

なりました。

児童・生徒の登下校中、学校での教育活動中の大規模な災害や自然災害に備え、園や学校では日ごろから、児童生徒の命を守る備え、対策を考えておかなければならないと思います。

平成二十七年五月、屋久島町口永良部島での大噴火災害の時、金丘小・中学校の児童・生徒が「災害が発生したとき、次にどんな行動をとるか、誰も迷うことなく動いた。」「訓練のおかげで体が勝手に動いていた。」と練り返し実施してきた防災訓練の成果を話しています。

各園や学校では、日ごろの防災計画や避難訓練だけでなく(形式的にならないよう)、防災意識を持たせる指導、保護者や地域との連携、災害発生時の職員の役割分担、情報収集など、十分な「備えと対策」を立て、「万が一に備える」ことが大切です。

平成27年・28年度 県支部・県青少年赤十字指導者協議会委嘱

青少年赤十字研究推進校研究発表大会 鹿児島情報高等学校

【研究主題】 青少年赤十字のこころを育むために
～「気づき、考え、実行する」をすべての教育活動にどのように位置づけるか～

【研究主題設定の理由(抜粋)】

学習指導要領の方針のひとつに、「生きる力」を育むことを目指すことが示されている。「生きる力」とは自ら課題を見つけ、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力、自ら律しつづ、他人とともに協調して、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力などと提言している。(平成8年7月)これは、青少年赤十字の行動目標「気づき・考え・実行する」に合致する。さらに実践目標の「健康・安全、奉仕、国際理解・親善」にもつながるものである。このことをすべての教育活動に位置づけ、青少年赤十字の心を育み、生きる力に結び付けたい。

【研究の実際(抜粋)】

- 「気づき、考え、実行する」を合言葉とする。
○学校行事や総合的な学習、探求活動、課題研究の時間の活用
○アクティブ・ラーニングの積極的な実践
○生徒会活動・部活動の活性化
○「先見」を促す機会の設定 掲示板の活用・メモの効用
○青少年赤十字の日(毎月8日)に青少年赤十字旗を掲揚
○かわら版による青少年赤十字活動の啓発

【各学科や部活動の取り組みの発表(抜粋)】

- eプレップ科 国際理解・親善を中心とした学習や活動について
プレップ科 探求活動という教科の中での取り組みについて
マルチメディア科 作品を作る過程での「気づき・考え・実行する」
メカトロニクス科 技術を使ったボランティア活動について
医療福祉科 介護実習の中で「気づき・考え・実行」の大切さを実感
吹奏楽部 チャリティーコンサートの取り組みをした経験発表
サッカー部 地域の清掃活動やあいさつ運動をすることの効用など
和太鼓部(J.S-WAOH)地域の行事などでの演奏活動の発表
生徒会本部 献血呼びかけ・錦江園の慰問・学校行事のことについて

【成果(抜粋)】

- 青少年赤十字について興味・関心を持ち、日ごろから「気づき、考え、実行する」ということばを意識する生徒が増えた。
○「気づき、考え、実行する」ということばを学校生活だけでなく、日常生活においても意識する生徒が増えた。
○掲示板などを設置することで自ら予定を確認する習慣が付き、先見を行う習慣にむすびつつある生徒も出てきた。

【課題(抜粋)】

- 今ある成果がさらに大きなものになるように、今後もこの研究活動と実践活動を続けていきたい。
○一部の生徒だけでなく、学校全体にもっと広げていけるように工夫をしていきたい。
○アクティブラーニングがすべての学科、すべての教科に浸透していくようにさらに工夫を重ねていきたい。



好評だった演劇部によるパネルシアター「アンリーデュナンの生涯」



生徒会本部役員によるウェルカムミュージック合唱「花は咲く他」



販売場近くに設置された電光掲示板(メカトロニクス科製作)や生徒会本部の生徒が書く掲示板でその日の活動や日程を再確認する



毎月8日は青少年赤十字の日 青少年赤十字の旗が掲揚されます。
研究主任: 春田純二 編集 大庭洋行

平成28年度 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター

小学校トレセン

8月2日(火)～4日(木)
霧島自然ふれあいセンター

中学校トレセン

8月8日(月)～10日(水)
霧島自然ふれあいセンター

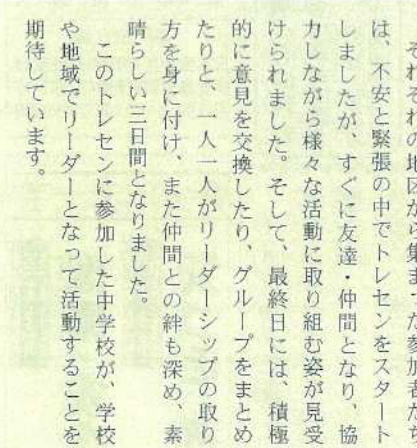
高等学校トレセン

8月8日(月)～10日(水)
霧島自然ふれあいセンター



【主な内容】 赤十字と青少年赤十字について、情報交換、健康安全プログラム、VSについて、野外活動
【参加校名(順不同)】 坂元、花野、入来、神村学園、福平、阿久根、与路、光神、竹島、西原、寿北、武、鴨池
主任 鹿児島市立福平小学校 徳永 貴子
二日間の学びをもとに
四月に熊本大震災発生。私たちの県も、どんな災害が起きるか分かりません。そこで、今年度も「災害への備え方を学び、これからの生活に生かしていこう。」のテーマを設定し、夏季小学校トレセンを実施しました。
子どもたち一人一人が、グループワークやフィールドワークの中で、もしもの時に自分の命をどのようにして守るかや自分たちに何ができるかを真剣に考えた三日間となりました。
これからの生活に生かすためには、ここで学んだことを各学校へ持ち帰り、リーダーとなって伝えたり、実践したりしてくれることを期待しています。

小学校トレセン



【主な内容】 赤十字と青少年赤十字について、情報交換、健康安全プログラム、野外活動、ワークショップ、VSについて
【参加校名(順不同)】 谷山、甲東、伊敷、国分、喜入、加世田、米ノ津、細山田、吉野、出水
主任 鹿児島市立吉野中学校 蓮子 さゆり
夏トレセンを振り返って
今年度も、多くの中学生と共に充実したトレセンを行うことができ、嬉しく思います。
それぞれの地区から集まった参加者たちは、不安と緊張の中でトレセンをスタートしましたが、すぐに友達・仲間となり、協力しながら様々な活動に取り組む姿が見受けられました。そして、最終日には、積極的に意見を交換したり、グループをまとめたりと、一人一人がリーダーシップの取り方を身に付け、また仲間との絆も深め、素晴らしい三日間となりました。
このトレセンに参加した中学校が、学校や地域でリーダーとなって活動することを期待しています。

中学校トレセン



【主な内容】 青少年赤十字について、情報交換、健康安全プログラム、防災について、野外活動、ワークショップ
【参加校名(順不同)】 薩南工業高、鹿児島女子高、鹿児島情報高、鹿児島高、指宿高
主任 鹿児島情報高等学校 大庭 洋行
少しの気づきを形に
今年のトレセンはVS活動を最前面に出して進めようというスタップの思いがあった。生徒もその思いを感じてか、参加者の良い行いを見てその行動を感謝として表すサンクスボードというボードを作ってくれた。それを見た生徒たちは、VSってこんなものでもいいんだ、難しいことじゃなんだと、自分でも気づいたものを形にしようという雰囲気が出てきたように思う。そして、それが形になってベトナムに派遣される生徒にお願いして現地の施設のごもたれに手作りのプレゼントを作るといふものに発展した。このような小さな気づきが他人のため、日常生活の中で生かされていけば、どんなに素晴らしい世の中になっていくのだろう。

高等学校トレセン

NHK 海外たすけあい募金活動

12月1日(火)から25日(金)まで「NHK 海外たすけあい」キャンペーンが実施されました。

「NHK 海外たすけあい」は、世界各地で起こる災害や紛争、飢餓や病気などで苦しんでいる人々を救うために NHK と日本赤十字社が共同で実施しているものです。

青少年赤十字のメンバーは日赤鹿児島県支部が県内 7 会場(鹿児島市(3 会場)、南さつま市、薩摩川内市、霧島市、鹿屋市)で実施した街頭キャンペーンに、青少年赤十字賛助奉仕団や赤十字地域奉仕団などと街頭募金の呼びかけを行いました。

総勢 202 名で街頭に立った今年の募金額は、昨年を上回る総額 419,134 円でした。ご協力有難うございました。



一日リーダーシップ・トレーニング・センター

小学校

期 日: 平成 29 年 2 月 4 日(土)
内 容: 非常食の実習、グループワーク(家まですごろく)、赤十字と青少年赤十字 等
参加校: 前之浜、入来、阿久根、坂元、福平、(順不同) 皇徳寺



中学校

期 日: 平成 29 年 1 月 21 日(土)
内 容: 非常食の実習、青少年赤十字と生徒会活動、私たちの生徒会(ボランティア)活動、ワークショップ 等
参加校: 加世田、武、南指宿、米ノ津、星峯、(順不同) 吉野、福平、細山田、金峰、喜入、出水、隼人



高等学校

期 日: 平成 29 年 2 月 19 日(日)
内 容: 非常食の実習、春季総会 創作活動 等
参加校: 鹿児島女子、薩南工業、鹿児島、(順不同) 鹿児島情報、甲南



加盟校(園)数(3月1日現在)

幼稚園 36 園、保育園 31 園
小学校 292 校、中学校 125 校
高等学校 23 校、特別支援学校 2 校
合計 509 校(園)

★平成 28 年度新規加盟校(園)★

【保育園】柳田、南林寺、武、吉野、玉里、西紫原、松原、清水、あたご、下伊敷 (10園)
【小学校】皇徳寺、水引、上手、国分南、竹子、大始良、鶴峰、高隈、東原、寿北、西原台、西俣、吾平、下名、蔵川、高須 (16校)
【中学校】大川内、吉松、隼人、溝辺、田崎、和泊 (6校)
【高等学校】福山、武岡台 (2校)

計 34 校

鹿児島県支部

【第 5 回 100 文字作文】コンクール

日本赤十字社鹿児島県支部と青少年赤十字指導者協議会では「人道・博愛」の精神の普及及び青少年赤十字の態度目標である「気づき、考え、実行する」の啓発に資するため、「100文字作文コンクール」を実施しました。県内の76校の小・中・高校生から10,317点の応募がありました。

2月11日の審査会で各賞の審査を行い、優秀な作品を決定しました。なお、今後は優秀な作品を作品集として作成し、各加盟校にお届けします。今回は支部長賞を紹介します。

支部長賞

垂水市立垂水小学校	2年	竹之内 祐汰
鹿児島市立武小学校	4年	寺町 仁
さつま町立求名小学校	5年	橋口 桃香
薩摩川内市立上飯中学校	1年	瀧邊 真結
鹿児島市立鹿児島女子高等学校	3年	泊 由梨佳

